『静岡県ハイスクールボランティアアワード』最終審査発表会

「富士宮高校会議所」が発表を行い 高い評価を受け特別賞に輝く

「富士宮の商店街を活性化させよう」をテーマに

県内の高校生の自発的な社会貢献活動を推奨し、高校生がより積極的に社会貢献活動に参加できる社会環境の熟成を目的に開催されたコンテスト「静岡県ハイスクールボランティアアワード」の「最終審査発表会」が23日に静岡市駿河区のグランシップで開かれ、富士宮市内の高校生が連携して高校生の視点で地域振興や地方創生・まちづくり・地域ビジネスの手法について実践を通して学ぶ『富士宮高校会議所』が参加して発表を行い、高い評価を受け、特別賞に輝いた。

「最終審査発表会」には、県内の高校生6団体1個人が参加、それぞれに6分間のスピーチに続いて2分間のインタビューを受けて、「社会貢献性」「自主性」「企画力」「発想力」などの評価基準で審査を受けた。

アワードでは、地域貢献ボランティア、デジタルボランティア、フェアトレードとエシカル消費、地域に愛される学校を目指して、販売を通じて地域・社会に貢献、商店街を活性化、SL整備からの地域再発見、などをテーマに発表が行なわれ、『富士宮高校会議所』は「富士宮の商店街を活性化させよう」をテーマに、各高校が富士山世界文化遺産登録3周年記念事業などで実施したイベントなど活動の成果を発表、高校生の独自の視点を活かした活発な事業活動が高い評価を受け、大賞に続く特別賞に選ばれた。

審査には、ふじのくに未来財団の伊藤育子代表理事（元静岡県議会副議長、服部由美さん（静岡時代副理事長）、井出ちよのさん（富士宮のご当地アイドル3776メンバー）が当たり、大賞には休みなどを利用して地域の子供たちや高齢者を対象にパソコン教室を開いている静岡市立桜が丘高校パソコン部の「デジタルボランティア」を選んだ。

審査委員長の伊藤育子さんは審査後の総評で、高校生たちに「これからも社会貢献や人に役立ちたいという思いをそれぞれの地域で形にして続けてください」とさらなる活動の推進に期待を寄せた。

迎春準備各地で

『道の駅』朝霧高原では今年も職員手づくりのジャンボ門松

師走点描

今年も志村支配人ら職員手づくりのジャンボ門松が用意された

富士宮市根原の「道の駅」朝霧高原では今年も巨大門松が施設玄関に飾られ、新年を祝う準備が整えられた。

職員手づくりのジャンボ門松は、施設オープン当初から毎年設置されているもので、来場者のお正月気分を盛り上げている。ジャンボ門松の前で観光客らが写真撮影する風景は「道の駅」朝霧高原の新春恒例ともなっている。

志村支配人を中心に毎年、職員が協力して製作しているジャンボ門松、今年は高さ3・5㍍、幅60㌢㍍の仕様で、ドラム缶の中に石、土嚢を詰め込んで固定した土台に、下条の上野製菓の協力により調達したモウソウダケを使用して中心に据え、上部には周辺で採れた松・笹・梅・橙（だいだい）を飾ってある。「新年を迎えるにあたり、地元住民の皆様、観光客の皆様に感謝の気持ちを込めて」従業員一同で作ったという門松は、来年1月7日まで設置される。同施設は、元旦営業も行ない、1日には午前10時から甘酒を用意して来場者サービスも行なうことから、多くの来場を呼びかけている。

志村支配人は「門松は新年を告げる年、神様が降りてくる依りしろです。道の駅では、従業員が皆でお客様の幸せを願って一生懸命つくりました。平成12年のオープン以来、今日まで無事に営業を続けられているのは、地元の方々や観光客の皆様のご愛顧があったからこそ。今年もより一層のサービスを決意して門松を設置しました」と語っている。

〔投稿〕

「目安箱」

富士根南住民

成人式を大人の思惑で汚したくない

本紙に次のような投稿が12月24日にありました。「役所には知人も数多いことからあえて匿名での投稿とさせていただきます」と記してありましたので、記述されている公人についても氏名を伏せて掲載します。

◇　◇

来月行なわれる成人式について、富士根南学区成人式において、市職員Yさんが、今回からY県議を来賓として出席させるよう実行委員会において提案したそうです。

地域に事務所があるので出させると依頼があった、と話したそうですが依頼する議員も問題ですが、特定の議員の依頼を受け関係方面へ働きかけるのは如何なものかと思います。

ましてや事務所があるだけで地域選出の市議とは違い、新成人たちとは普段何も接点がありません。

白く潔白な新成人たちの門出を汚い大人たちの思惑で汚したくありませんね。

写真が動き出す年賀状で富士宮市をPR

市がホームページで情報提供

富士宮市は「世界遺産のまち富士宮市」の魅力を市内外に向けてPRするために富士宮市のイメージキャラクターさくやちゃんのイラストや富士山画像をホームページで提供しているが、年賀シーズンに合わせて酉年のイラスト及びAR（拡張現実）動画機能を付加した富士山画像を追加している。

酉年イラストについては、市長をはじめ市外の人にも年賀状に活用を呼びかけている。

AR（拡張現実）動画機能を付加した富士山画像については市民に市外県外に向けて富士宮市をPRするために積極的な利用を呼びかけている。ダウンロードや詳しいことは市のホームページで。AR（拡張現実）動画機能の公開期限は来年3月末までとなっている。

詳しいことは、市情報発信課広聴広報係（☎㉒1119）まで。

年末の交通安全県民運動　12月15日～12月31日

「安全を つなげて 広げて 事故ゼロへ」

運動の重点
1 高齢者と子供の交通事故防止
2 夕暮れ時から夜間の交通事故防止
～「自発光式反射材」等の着用と夕暮れ時「早めのライトオン」の励行～
3 飲酒運転の根絶
4 歩行者の交通事故防止

協同組合
富士宮地区自動車連合協会
理事長 遠藤 正

静岡県自動車整備振興会
富士宮支部
支部長 渡邉 喜義

富士宮地区
安全運転管理協会
会長 足立 一教

〒418-0062 富士宮市城北町370番地 TEL0544-27-2811㈹ FAX0544-27-2812

あんしん　ゆとり　たすけあい